

## 視察調査・研修会等報告書

令和 4年 5月 19日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平 )



|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 研修・視察年月日                         | 令和 4年 5月16日 ~ 令和 4年 5月18日  |
| 研修会場・視察先                         | 青森県八戸市 八戸市役所・八戸ブックセンター<br>宮城県栗原市 栗原市役所<br>宮城県東松島市 東松島市役所・スマート防災エコタウン   |
| 研修名・視察目的                         | 八戸市:八戸ブックセンターについて<br>栗原市:定住促進事業について<br>東松島市:SDGs 未来都市、スマート防災タウンについて  |
| 応対者(説明者)の<br>役職・氏名等<br>※視察調査のみ記載 | 八戸市:<br>八戸ブックセンター 所長 音喜多信嗣氏<br>栗原市:<br>定住戦略係 係長 栗原聡氏<br>東松島市:<br>復興政策部 地方創生・SDGs 推進室 係長 成澤史浩氏  |
| 参加議員(同行者)                        | 関良平、小川亘、福田洋一、岡田裕<br>篠崎佳之、渡邊一郎、高橋栄  |
| 調査概要                             | <p>・八戸市:八戸ブックセンターについて<br/>まず座学にて 設立の経緯、運営経費、民間との連携、市街地活性化への寄与、今後の展望や課題 等について説明・意見交換をしたのち 現地での視察見学を行った。</p> <p>国内初の公設公営書店で、本に触れる機会の創出や官民の役割分担など先進的な取り組みがされていた。同じ形式かどうかは別として、わが市でも参考になりそうな事例がたくさんあった。</p> <p>・栗原市:定住促進事業について<br/>平成の大合併で 9つの町と1つの村が合併して生まれた 宮城県で一番の面積を誇る栗原市が『住みたい田舎ランキング』で 東北第 1 位となった経緯について、支援制度の内容や他に無い取り組み、実績や今後の展望等について伺った。</p> <p>人口こそ違えど、大都市との距離や公共交通の利便性、地域で抱える課題など、我が市と通じるものがあり、大変参考になった。</p> <p>・東松島市:SDGs 未来都市、スマート防災タウンについて</p> |

## 視察調査・研修会等報告書

|   |   |
|---|---|
|   | <p>2018年6月に、内閣府より「SDGs 未来都市」に選定された東松島市。その経緯や震災復興との関係、官民連携、これまでの取り組み、今後の課題や展望等を伺い、「復興のモデル都市」から「地方創生のモデル都市」へ転換していることを教えて戴いたのちに、関連がある「スマート防災タウン」の現地調査をした。</p> <p>東日本大震災に伴う津波被害から立ち直るだけでなく、従来からあったまちづくり計画をブラッシュアップし、よりよい復興を目指した執行部の皆さんのやる気と情熱を強く感じた。東北3県の被災地の中で一番復興が進んでいるという東松島市の皆さんの『人間力・組織力』を強く感じた。こちらにはまだまだ参考になる事例が多いと感じたので、他の事例でも視察してみたいと思った。</p> |
| <p>市政の課題等に対し<br/>どのように参考になるか、<br/>所感等</p> | <p>地方都市と大都市との格差問題を解決すべく、3都市とも風土や地域の特性を考慮した様々な政策を行っていた。小山市も首都圏という恵まれた地勢に甘んじることなく、調査・研究し市政に反映しなければならぬと強く感じた。</p> <p>今後の議会運営で今回学んだことを反映して行きたい。</p>   |

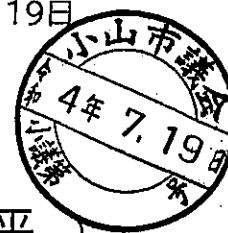
## 視察調査・研修会等報告書

令和 4年 7月 19日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平 )



|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 研修・視察年月日                         | 令和 4年 7月13日 ~ 令和 4年 7月15日   |
| 研修会場・視察先                         | 福岡県北九州市 北九州市役所<br>山口県山口市 KDDI 維新ホール<br>岡山県岡山市 岡山市役所   |
| 研修名・視察目的                         | 北九州市:介護ロボット等導入支援・普及促進センターについて<br>山口市:産業交流拠点施設について<br>岡山市:SDGs・ESD の取組について   |
| 応対者(説明者)の<br>役職・氏名等<br>※視察調査のみ記載 | 北九州市: 保健福祉局<br>先進的介護システム推進室 室長 堀江吏将氏<br>山口市: 商工振興部<br>ふるさと産業振興課 課長 金子忠正氏 副主幹 谷野昇平氏<br>岡山市: 市民協働局 市民協働部<br>SDGs・ESD 推進課 課長 岩田裕久氏、課長補佐 水谷宗平氏  |
| 参加議員(同行者)                        | 荒井覚、関良平、小川亘、福田洋一、<br>岡田裕、篠崎佳之、渡邊一郎、高橋栄  |
| 調査概要                             | <p>・北九州市:介護ロボット等導入支援・普及促進センターについて<br/>座学にて 取組の経緯として、市が解決しなかった課題、施設や職員<br/>の困りごと、北九州モデルについて、実証で得た教訓、今後の展望や課<br/>題 等について説明・意見交換を行った。</p> <p>産業のまち『北九州市』の利点を生かし、人手不足時代に対応したマネ<br/>ジメントモデルの構築をし、ロボットやセンサー等の『ICT』を活用してい<br/>た。開始から 3 年間ですでに 11 の自治体が北九州モデルを採用してい<br/>る。わが市でも参考になりそうな事例がたくさんあった。</p> <p>・山口市:産業交流拠点施設について<br/>まず座学にて 施設整備に至った経緯および目的、施設の概要、事業<br/>費や財源内訳管理運営体制 等について説明・意見交換をしたのち 現<br/>地での視察見学を行った。</p> <p>人口や地勢、抱える問題など、我が市と通じるものがある。県の出先機<br/>関や商工会議所とも連携しており、大変参考になった。</p> |

## 視察調査・研修会等報告書

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
|                                  | <p>・岡山市:SDGs・ESD の取組について</p> <p>2005年から、ESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいた岡山市は、その流れから ESD に関するユネスコ世界会議を開催し、2015 年 活動方針に「SDGs 達成に向けた ESD の推進」を追加、現在に至っている。ESD の経緯や基本構想、岡山 ESD プロジェクトの各事例、岡山市の SDGs の推進に関する事象、今後の課題や展望 等を伺った。</p> <p>これまで ESD の取組を行っていた岡山市だから上手に進んできたのだと思った。担当者曰く、『ESD が SDGs のすべての目標達成のカギです。』という言葉に共感した。この事例を小山市で導入するには『時間の差』を感じたので、他の事例でも視察してみたいと思った。</p> |
| 市政の課題等に対し<br>どのように参考になるか、<br>所感等 | <p>『介護』『駅周辺再開発』『SDGs』という全国共通の課題の先進事例に触れ、小山市が若干の遅れをとっていることを感じ、努力が必要だと思った。小山市も首都圏という恵まれた地勢に甘んじることなく、調査・研究し、市政に反映しなければならないと強く感じた。</p> <p>今後の議会運営で今回学んだことを生かして行きたい。</p>   |

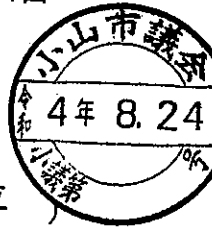
## 視察調査・研修会等報告書

令和 4年 8月 24日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平



|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 研修・視察年月日                         | 令和 4年 8月17日 ~ 令和 4年 8月19日  |
| 研修会場・視察先                         | 北海道北広島市 北広島市役所<br>北海道美唄市 美唄市役所<br>北海道千歳市 千歳市役所   |
| 研修名・視察目的                         | 北広島市:グリーンツーリズムについて<br>美唄市:宮島沼の利活用について<br>千歳市:ちとせ版ネウボラについて  |
| 応対者(説明者)の<br>役職・氏名等<br>※視察調査のみ記載 | 北広島市: 経済部<br>農政課 課長 山田孝博氏<br>美唄市: 市民部 生活環境課<br>課長 三浦 誠氏 宮島沼 水鳥・湿地センター長 牛山克巳氏<br>千歳市: 保健福祉部<br>母子保健課 課長 金川律子氏   |
| 参加議員(同行者)                        | 荒井覚、福田洋一、<br>岡田裕、篠崎佳之、渡邊一郎、高橋栄   |
| 調査概要                             | <p>・北広島市:グリーンツーリズムについて<br/>座学にて 事業開始に至った経緯、事業の目的、実施状況、事業の効果、今後の課題などをご教授頂いたのち、質疑応答・意見交換を行った。<br/>国や道の動きをとらえ、農村滞在型余暇活動機能整備計画書の策定を行い、市の総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略などで「にぎわい・魅力づくり」の重点事項として位置づけていた。</p> <p>・美唄市:宮島沼の利活用について<br/>まず座学にて ラムサール条約登録までの経緯、周辺自然環境について、観光や農業への影響についてなどを伺った後、意見交換をした。<br/>もともと渡り鳥が訪れる環境にあった美唄市が 自然災害から町を守る治水工事や農業環境を守ってゆくと同時にマガンの飛来数が増え環境の変化と課題解決を繰り返した結果、現在の取組に至っていた。<br/>市が設置したセンターを中心に、地域住民・専門家・市民団体などが協議会やネットワークを形成し、環境保全と観光等の取組をしており、大変参考になった。</p> |

## 視察調査・研修会等報告書

|  |  |
|--|--|
|  | <p>・千歳市:ちとせ版ネウボラについて</p> <p>平成28年10月から ちとせ版ネウボラを開始した経緯を伺い、理念や趣旨・目的、特徴、事業概要、実施体制、事業予算、利用者からの感想、今後の課題などを伺った。</p> <p>千歳市では ネウボラ事業を行う際に、支援プランやアセスメントシートを作成し、それらを関連付け 進捗や必要事項の確認漏れを防ぐことのできる「ネウボラファイル」を妊娠届け出時に母子健康手帳と共に配布、その後の支援につなげている。大変よい制度だが、受け取った方々の認知度が低く、課題も多い。小山市でも取り入れるべき部分が多いと思った。</p> |
| <p>市政の課題等に対し、<br/>どのように参考になるか、<br/>所感等</p> | <p>今回の訪問先は すべて『大都市のベッドタウン』であり、小山市と環境や境遇など参考になるところが多かった。今回の視察内容を調査・研究し、小山市にマッチした形に変えながら市政に反映したいと思った。</p> <p>今後の議会運営で今回学んだことを生かして行きたい。</p>   |

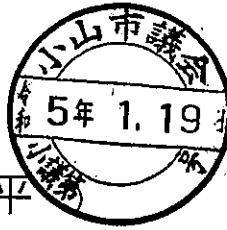
## 視察調査・研修会等報告書

令和 5年 1月 19日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平



|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 研修・視察年月日                         | 令和 5年 1月12日 ~ 1月13日  |
| 研修会場・視察先                         | 大阪府大阪市<br>東淀川区東中島1-18-22 新大阪丸ビル別館  |
| 研修名・視察目的                         | 地方議員研究会 アフターコロナの議員目線<br>・絶対的質問力<br>・「急激悪化！地方の財政」財政事情と決算審議&歳入増加策  |
| 応対者(説明者)の<br>役職・氏名等<br>※視察調査のみ記載 | 大正大学 客員教授 村山 祥栄 氏  |
| 参加議員(同行者)                        | なし   |
| 調査概要                             | <p>・絶対的質問力<br/>一般質問(代表・個人)と委員会での質問の使い分け、理想と現実の差異を形にする事や、市民の意見を反映する際のアプローチ方法、時流の先取り などをご教授いただき、併せて ケーススタディから自分のまちなにあった捉え方と 議員としての心構えを学んだ。</p> <p>・「急激悪化！地方の財政」財政事情と決算審議&amp;歳入増加策<br/>近年悪化する地方財政の課題や決算の捉え方、アフターコロナで訪れる「歳入の大幅減少」「財政調整基金の枯渇」「コロナに伴う支出増」などを踏まえた対策を学んだ。</p>                   |
| 市政の課題等に対し<br>どのように参考になるか、<br>所感等 | <p>これまで地方議員は「おらが村の御用聞き」「インフラ整備の資金確保役」の様な位置づけであることが多かったが、もっと大局的に物事を捉え質問に反映させなければならない。全国的に人口減少となる中で、地方議員も「少数精鋭」「先見性の高い質問」を行うことが重要であることを改めて実感した。また、地方財政がひっ迫すると想定される中、執行部に対して先進事例の情報収集や提案型質問などへの対応がこれから重要度が増すと考えられ、議員がもっと前向きに学習・分析・判断・行動をする事が大切であると感じた。</p> <p>今後の議会運営で今回学んだことを反映して行きたい。</p> |

## 視察調査・研修会等報告書

令和 5年 1月 30日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平 )



|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 研修・視察年月日                         | 令和 5年 1月27日   |
| 研修会場・視察先                         | 東京都千代田区永田町2-1-2<br>衆議院第二議員会館 1階 第二会議室   |
| 研修名・視察目的                         | 国土交通省<br>・新4号国道の高規格道路化への展望  |
| 対応者(説明者)の<br>役職・氏名等<br>※視察調査のみ記載 | 国土交通省 道路局<br>国道・技術課 課長 長谷川 朋弘 氏<br>同課 企画専門官 柴田 芳雄 氏、同課 企画係長 久保田 博之 氏  |
| 参加議員(同行者)                        | 荒井覚、高橋栄   |
| 調査概要                             | 国土交通省における 栃木県内での現在の整備計画の概要と 他県エリアを含めた新国道4号線の整備状況、高規格道路や地域高規格道路のレクチャーを受けたのち、質疑応答を行った。国の考え方や計画等の現状、類似高規格道路との違いや様々な例での実現可能性や地方から発信する場合に何から始めれば良いか等のアドバイスを頂いた。        |
| 市政の課題等に対し<br>どのように参考になるか、<br>所感等 | 昔の道路行政のように 国への陳情を議員を介して要望活動するスタイルから 地元から勉強会等を立ち上げ、関係各所と時間をかけ意見交換や共通課題の検討・問題解決の方策などを話し合い、時間をかけて地域全体での醸成を促す行動をする事が大切であると感じた。<br><br>今後の議員活動・市の施策等で今回学んだことを反映して行きたい。 |



## 視察調査・研修会等報告書

令和 5年 1月 19日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平 )



|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 研修・視察年月日                         | 令和 5年 1月16日 ~ 1月18日   |
| 研修会場・視察先                         | 兵庫県尼崎市・尼崎市役所<br>兵庫県神戸市・神戸市役所<br>高知県高知市・オーテピア高知図書館   |
| 研修名・視察目的                         | ・SDGs「あま咲きコイン」について<br>・Urban Innovation KOBE について<br>・オーテピア高知図書館について  |
| 対応者(説明者)の<br>役職・氏名等<br>※視察調査のみ記載 | 尼崎市:<br>経済環境局 経済部 地域産業課 課長 松田登、係長 山下秀樹<br>神戸市:<br>医療・孫産業本部 新産業部 部長 垣内正雄、課長 武田卓<br>高知市:<br>高知市民図書館 館長 高石敏子、科学館課 課長 弘瀬友也  |
| 参加議員(同行者)                        | 荒井覚、関良平、小川亘、福田洋一、岡田裕、篠崎佳之、渡邊一郎  |
| 調査概要                             | <p>・SDGs「あま咲きコイン」について<br/>地域通貨プラットフォームサービス「chiica(チーカ)」を活用し、地域振興券をキャッシュレス決済出来るようにしている。同時に健康マイレージなど SDGs に関する市施策への参加で得られるポイントをチーカに貯めることで SDGs に対する意識向上とイベント参加に繋げている事を学んだ。</p> <p>・Urban Innovation KOBE について<br/>現在全国展開している「Urban Innovation JAPAN」の先駆けとなった事業で、行政の課題とスタートアップ・民間企業のマッチングをすることで、地域の課題解決と新規事業の創出を促進させている事を学んだ。</p> <p>・オーテピア高知図書館について<br/>高知県と高知市が共同で新図書館の基本構想の着手に合意、8年かけて開館にこぎつけた国内初の県市合築施設。県立図書館と市立図書館で役割分担をし、機能を強化、直営を堅持している。利用者のことを</p> |

## 視察調査・研修会等報告書

|   |  |
|---|--|
|   | <p>考え、自治体と住民が多く議論を重ねて決めた形がオーテピアの形である事を学んだ。</p>   |
| <p>市政の課題等に対し<br/>どのように参考になるか、<br/>所感等</p> | <p>これからの地方自治体は周辺地域の中での存在意義と住民から支持される魅力ある街である事が大切である。</p> <p>理想的には周辺自治体と共に地域を盛り上げることが大切だが、実際には そういう考え方だと地域全体が衰退していってしまう。そんな中、先進事例を学び、カスタマイズして反映させ、自分たちの街をしっかりと住民から「住みたい街」と思ってもらえる施策等を議員として提供して行く必然性を強く感じた。</p> <p>今後の議員活動で今回学んだことを反映して行きたい。</p> |